



ひかりの子幼稚園
園長 若槻 三記子

10月の爽やかな青空の下、無事に運動会を終えることができ、本当に嬉しく思います。順延続きの開催となりましたが、皆様の温かいご声援とご協力のおかげで、子どもたちの持てる力を発揮することができたこと、心より感謝申し上げます。子どもたちの成長した姿に、目頭を熱くされた方も多かったのではないのでしょうか。運動会を通して子どもたちの心と体に確かな変化と成長の芽が育ってきたと感じるこの頃です。

「できなかったことができた」という成功体験から自信がつき、様々なことにチャレンジしようという子どもたちの姿があらこちらで見られます。小さな学年の子どもたちは、年長組さんのパラバルーンを見学したり、教えてもらうことで、年長さんへの憧れが益々膨らみました。

また、みんなと力を合わせて協力する喜びを感じ、クラスごとの団結力が芽生えてきたように思います。「どうしたら勝てるかな?」「〇〇ちゃんができるように助けよう。」と集団の中で自分の役割を果そうとする社会性が育まれてきた子どもたちもいました。

頑張ったけれど、負けてしまい、悔し涙をながした子どもたちもいました。懸命に努力したからこそ流れる涙には、目標を設定し努力する力、そして結果を受け入れ、次への糧とする立ち直る力(感情のコントロール)が育ったと思います。本番で緊張や恥ずかしさで立ちすくんでしまった子どもたちもいました。この経験はきっと「次は頑張ってみよう」という新たな挑戦意欲へと変わる、貴重な心の成長ステップとなると信じています。

2学期は、遠足、芋ほり、みかん狩り、みのりまつり、クリスマスとたくさんの行事があります。安心で安全だと感じる環境があってこそ、子どもたちは、勇気をもって挑戦し、自信を持って困難に向かって行けると思います。子どもたちがいきいきと活動し、自分の思いが言えるように、子どもたちの「やってみたい」「やりたくない」という気持ちにしっかり寄り添いながら思いを受けとめ、主体的に一步を踏みだせるよう、保育をしていきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



残念ながら絶版の絵本です。職員室前に置いていますので、手に取って読み下さい。

『ちいさい わたし』という絵本を紹介します。

不安をかかえる女の子が主人公のお話です。

「いろんなことが上手にできない。
でもいつかはできるようになる。今はその途中だもん。」
子どもの気持ちががとてもよく描写されている絵本です。



ひかりの子の年少児さんAちゃんもママと一緒にないとクラスへ行けませんでした。Aちゃんがある日突然、門から一人でクラスへ行く姿がありました。お母さんは驚かれ、その後ろ姿を涙ぐみながら見送られ「一人で行けるようになったのは嬉しいけれど、なんだか寂しいです。」と笑顔で言っておられました。

成長は行きつ戻りつですが、きっとその子にとっての『時』を神様がそなえてくださっていると感じます。その日を信じて祈り待ちましょう。